

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

えっ??日本からウナギが消える!?

9/28 公開セミナー

「減る水産物、増える海獣－絶滅危惧の水産生物と持続可能な漁業－」

～海洋生物の絶滅危惧リストから海と人類の未来について考える～

開催のご案内

- 横浜国立大学（学長：鈴木邦雄）統合的海洋教育・研究センターは9月28日に公開セミナー「減る水産物、増える海獣－絶滅危惧の水産生物と持続可能な漁業－」を開催いたします。
- 2010年生物多様性条約第10回締約国会議の機に、海産生物に関するレッドリストの策定が決まりました。そして今年、ニホンウナギやマナマコなどがリストに新たに登録されました。他方、絶滅危惧リストにあったトドは昨年、準絶滅危惧種に格下げになっています。
- このような背景を踏まえ、近年の海洋生物の保全状況やレッドリスト掲載が与えるワシントン条約と漁業への影響をおさらいし、水産研究所、環境省、環境団体が一堂に会し、海の自然と人類の未来について考えます。

※レッドリスト：絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト

■公開セミナーの概要

日時：平成25年9月28日（土） 13時30分～17時00分

場所：横浜国立大学 教育文化ホール大集会室

対象：一般の方

参加費：無料

【お申し込み】

横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター

eメール：kaiyo@ynu.ac.jp 電話：045-339-3067 Fax：045-339-3595



本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 水井 涼太、滝沢 隆俊

電話・Fax 045-339-3595

e-mail: mizui@ynu.ac.jp

別途資料をご参照のうえ、是非ともご取材等をお願いいたします。



減る水産物、増える海獣

— 絶滅危惧の水産生物と持続可能な漁業 —

2010年生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）を機に
海産生物レッドリストを定めることになった。

そして、

2013年2月、ニホンウナギが環境省レッドリストに掲載された。

2013年7月、IUCN レッドリストにマナマコなどが新たに登録された。

他方、かつて絶滅の危機にあったトドは、2012年の環境省レッドリストでは準絶滅危惧種に格下げとなった。
近年の水産生物と海獣類の保全状況、レッドリスト掲載のワシントン条約と漁業への影響をおさらいし、
海の自然と人類の未来について考える。

日時：2013年9月28日（土） 13:30～17:00

会場：横浜国立大学 教育文化ホール大集会室

- ニホンウナギの絶滅リスク： 松田裕之（横浜国大）
- 世界のクロマグロとワシントン条約： 山内愛子（WWF ジャパン）
- 急成長する中国のナマコ市場と日本産マナマコの生産： 廣田将仁（中央水研）
- ゼニガタアザラシの保護管理： 山本麻衣（環境省）
- ラッコ来遊、もうひとつの背景： 本間浩昭（毎日新聞）
- 絶滅危惧種から外れたトドの未来： 山村織生（北水研）
- 危機に瀕する IWC 国際捕鯨委員会の管理機能： 加藤秀弘（海洋大）
- パネル討論（90分） 水産物とレッドリストの役割

参加希望者は下記まで「9.28 公開コロキアム参加希望」とご記入いただき、お名前、ご所属、連絡先（eメールまたは電話番号）をお早めにお知らせください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター

eメール：kalyo@ynu.ac.jp 電話：045-339-3067 Fax：045-339-3595

主催：横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター

助成：日本財団

後援：（一社）水産資源・海域環境保全研究会、（公財）世界自然保護基金、（公社）日本水産学会、

（独）海洋研究開発機構、（独）水産総合研究センター、日本生態学会